

## < 施設概要 >

- 主要用途 保育所、児童館・子育て支援センター・山下第二小学校児童クラブ
- 住所 宮城県亶理郡山元町つばめの杜一丁目2番地（平成28年8月1日から）
- 敷地面積 7,935.46 m<sup>2</sup>
- 延床面積 ◆山元町つばめの杜保育所 1,191.25 m<sup>2</sup>  
◆山元町こどもセンター 818.56 m<sup>2</sup>
- 構造 木造 平屋建て
- 事業費 総事業費 95,806 万円
- 主要諸室 ◆山元町つばめの杜保育所（☎0223-36-7271）  
0歳児室、1歳児室、2歳児室、3歳児室、4歳児室、5歳児室、  
沐浴室、午睡室、遊戯室、調理室、職員室、医務室 等  
◆山元町こどもセンター（☎0223-36-7251）  
多目的ホール、図書室、創作活動室、和室、集会室、児童クラブ室、  
子育て支援センター交流スペース、事務室 等



# 山元町

担当課 保健福祉課 子育て支援班

〒989-2292 宮城県亶理郡山元町浅生原字作田山 32 番地

TEL 0223-37-1113 FAX 0223-37-4144

HP アドレス <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/>

# 山元町 子育て拠点施設

山元町つばめの杜保育所

山元町こどもセンター（児童館・子育て支援センター・山下第二小学校児童クラブ）





# 建築計画

## 施設の位置と構成

子育て拠点施設は、つばめの杜地区（新山下駅周辺地区）内の「つばめの杜中央公園」（平成28年3月26日供用開始）と山下第二小学校（現在再建中）の間に位置し、北側に「つばめの杜保育所」、南側に児童館・子育て支援センター・山下第二小学校児童クラブの機能を備えた「こどもセンター」で構成されます。

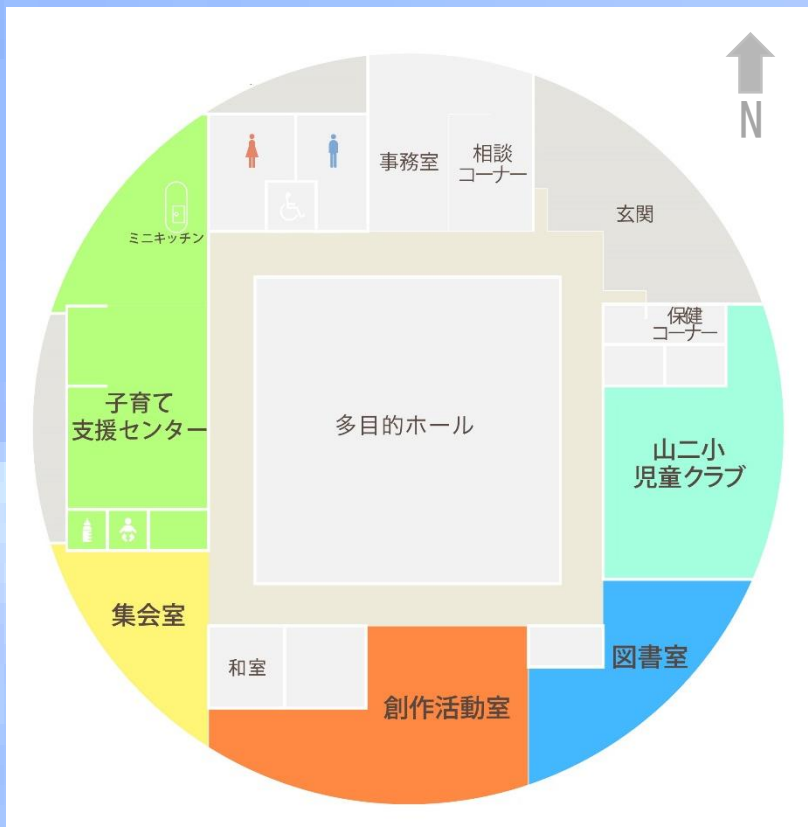
## 施設の配置

- 保育所は安全性と採光・通気を考慮し、園庭を囲む配置としています。
- 保育室については、3歳児未満の保育室群と3歳児以上の保育室群を、園庭を挟んで明確に分離し、その双方の中央に位置するように遊戯室を配置しています。
- こどもセンターは、児童館・子育て支援センター・山下第二小学校児童クラブの機能を多角形（円形状）の建物に集約して『ひとつ屋根の建物』とし、相互の連携や管理がスムーズに行えるようにしています。また、公園側にゆったりとした広場を設けています。

## 子育て支援施策の中核を担う拠点施設

- 子育て支援の中核を担うこれら施設の完成により、施設周辺一帯が、本町を牽引する新市街地の顔として、子育て世代をはじめ、地域の方々に愛される子育て拠点エリアとなるよう、それぞれのライフステージに見合った事業を実施し、より一層子育て支援策の充実を図ります。





【山二小児童クラブ】



【図書室】



【子育て支援センター】



【集会室】



【創作活動室】

## 施設の機能

### □児童館

多目的ホール、集会室、創作活動室、図書室、そして静養室としても使用できる和室を備えています。子どもたちの遊びや学習、また、地域の方々との交流が図れる屋内型児童厚生施設です。

### □子育て支援センター

子育て中の親子が気軽に集い、交流できるスペースを設けています。3つのスペースはそれぞれ区切ることができるので、少人数にも対応可能です。また、料理教室なども行えるようにミニキッチンを設置しているほか、屋外にはウッドデッキも備えているため、西側に広がる芝生広場にも行き来ができます。

### □山下第二小学校児童クラブ

主に隣接する山下第二小学校・山下第一小学校の児童を対象とする放課後児童クラブです。施設の東側、小学校に一番近い場所に位置します。



# こどもセンター

[多目的ホール]

- ・ 児童館
- ・ 子育て支援センター
- ・ 山下第二小学校児童クラブ

## 施設の特徴

- 多角形（円形状）の外壁を複層ガラスのカーテンウォールとすることで、明るく、やさしいイメージの外観を形成しています。
- 建物の中心に多目的ホールを配置することで、それぞれが利用しやすい配置になっています。
- 次ページ図のとおり、施設内の四角い部屋の壁色に**水色**、**青**、**橙**、**黄**、**緑**の5色をアクセントとして取り入れ、ガラス越しに“色のついた箱”が散りばめられたイメージとしています。





公園(西側)と小学校(東側)との一体感、安全な相互アクセス



公園とつながっている“親子ひろば”



公園から行き来ができる園庭  
公園内の遊具も利用して活動ができます

つばめの杜中央公園



山下第二小学校

# 施設配置

# つばめの杜 保育所

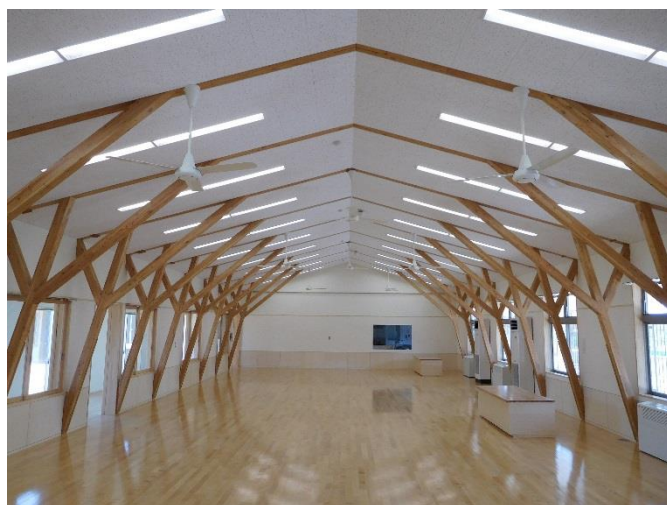


## 施設の特徴

- 保育所は、小さな民家の集合する集落をイメージしました。三角屋根の部分を欄間とすることで、北側の保育室でも明るく、採光を十分に取ることができます。室内は木造の特色を活かした、木の優しさに包まれた空間をベースとしています。
- 職員室に近い南側のエリアに0歳児室～2歳児室を配置し、緊急時にもすぐに対応できるようにしています。また、南側には0歳児～2歳児専用の芝生の広場を設けています。一方、3歳児室～5歳児室は、園庭を挟んだ北側のエリアに配置しています。
- 遊戯室は施設の東側に位置します。3歳児～5歳児の午睡室も兼ねます。また、食育の一環として、北側の窓からは隣接する調理室の様子を見学できるようになっています。



[1・2歳児保育室]



[遊戯室]



## 芝生の園庭

園庭は、約 800 m<sup>2</sup>の広さがあります。子どもたちが裸足で走り回れるように、柔らかいティフトン芝を全面に敷設してあります。

園庭には各保育室のテラスから直接出入りが可能で、その付近には足洗い場と手洗い場を備えています。



[芝生の園庭]